

平成30年第3回（6月）上越市議会定例会

総務常任委員会資料【所管事務調査】

第6次総合計画の後期基本計画の策定について	・・・・・・・・	1～4
平成30年 市民の声アンケート報告書（概要）	・・・・・・・・	別紙
上越市の現状と課題（政策分野別基本施策の状況）	・・・・・・・・	別冊

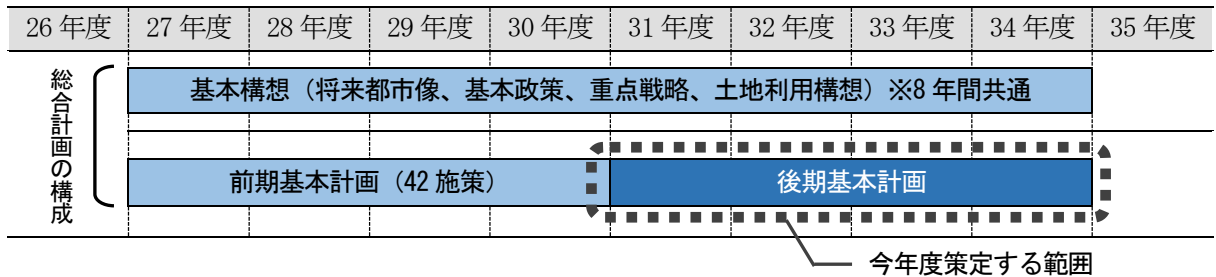
所管委員会	総務常任委員会
提出課	企画政策課

第6次総合計画の後期基本計画の策定について

1 目的

平成31年度から34年度までの4年間の基本施策（以下「施策」という。）の方針やその柱となる取組、目標等を定めた後期基本計画を策定し、総合計画の一層の推進を図ることで、将来都市像「すこやかなまち～人と地域が輝く上越～」の実現を目指すもの

【計画の全体期間】



2 後期基本計画の策定に向けた取組状況

(1) 平成30年「市民の声アンケート」の実施【実施済（平成30年1月）】

市民生活の実態や実感、市の施策に対する満足度・重要度等の市民ニーズを調査し、後期基本計画策定の基礎資料とするため、市民5千人を対象に実施した。

※ 調査結果の概要は、「平成30年市民の声アンケート報告書（概要）」（別紙）のとおり

(2) 前期基本計画の評価検証【実施中】

総合計画に位置付けた42の施策単位に、次の状況を考察し、今後の方向性を明確にする評価・検証作業を、平成29年度から全庁的に実施しており、30年度は、106の「施策の柱」単位で評価・検証を進めている。

ア 進捗状況（施策目標の進捗、施策に位置付けた事業の進捗）

イ 社会経済環境の変化・動向

ウ 取り巻く課題の変化

※ 上記ア～ウのこれまでの考察における主な内容は、「上越市の現状と課題」（別冊）のとおり

(3) 総合計画審議会の審議

ア 委員構成

上越市総合計画審議会条例に基づき、次の30人の委員を本年5月23日付けで委嘱した。

- ・市教育委員会の委員（1人）
- ・市農業委員会の委員（1人）
- ・学識経験を有する者（5人）
- ・関係行政機関の職員（3人）
- ・関係諸団体の役員及び職員（13人）
- ・公募に応じた市民（3人）
- ・その他市長が必要と認める者（4人）

※ 委員名簿は、4頁に記載のとおり

イ 審議会の開催

本年5月23日、第1回審議会を次のとおり開催した。

(ア) 会長・副会長の選任

- ・会長：川崎 直哉 委員（上越教育大学 学長）
- ・副会長：濱 祐子 委員（上越市教育委員会 委員）

(イ) 議事

- ・審議会の運営等について
- ・上越市の現状と課題について
（総合計画の概要、現状と課題、平成30年市民の声アンケート結果）

(ウ) 結果概要

- ・今後の審議内容及び開催計画を決定した。
- ・人口減少の進行や政策分野別の現状・課題について意見交換を行った。

3 今後の取組スケジュール（予定）

(1) 総合計画審議会の審議

ア 第2回審議会（7月下旬）

後期基本計画の骨子案（上記2(2)の評価・検証に基づく施策の方向性）について審議を行う。

イ 第3回審議会（8月下旬）

後期基本計画の計画案（施策の柱ごとの取組、施策目標の見直し等）について審議を行う。

※ 施策目標は、具体的かつ実効性ある目標項目の追加設定や数値の見直しを行う。

ウ 第4回審議会（11月下旬）

計画案に対するパブリックコメントの結果を踏まえた対応について審議を行う。

(2) 市民意見の反映等

ア まちづくり意見交換会の開催（7月中旬）

総合計画の取組や人口減少の進行等について現状・課題を説明し、まちづくりに対する意見交換を行う会合を市内5会場（調整中）で開催し、計画に反映する。

イ 市民説明会の開催（10月上旬）

後期基本計画の計画案について市民へ説明する。

ウ パブリックコメントの実施（10月中旬～）

(3) 大学生によるまちづくりワークショップの開催【調整中】

上越教育大学と連携し、大学生がまちの魅力向上や課題解決についてフィールドワーク等を通じて考えるワークショップを開催し、若者の意見を計画に反映する。

(4) 市議会への説明、議決

ア 総務常任委員会所管事務調査での説明（9月）

イ 議案提出・議決（12月）

(5) 計画の公表

本編冊子及び概要版を作成し、概要版を全戸配布するとともに、市ホームページ等で公表し、周知・活用を図る。（平成31年3月）

【全体スケジュール】

時 期	内 容	
平成30年5月23日	第1回審議会	○審議会の運営等について ○上越市の現状と課題について
6月8日	市議会6月定例会 所管事務調査	
7月中旬	まちづくり意見交換会の開催	
7月下旬	第2回審議会	○後期基本計画の骨子案について ○まちづくり意見交換会の開催結果について
8月下旬	第3回審議会	後期基本計画の計画案について
9月	市議会9月定例会 所管事務調査	
10月上旬	市民説明会の開催	
10月中旬	パブリックコメント	
11月下旬	第4回審議会	後期基本計画の計画案について (パブリックコメントの結果と対応について)
	審議会(会長)	答申
12月	市議会12月定例会	議案提出・議決
平成31年3月	基本計画の公表(冊子配布)	

【総合計画審議会委員名簿】

(委員区分・五十音順、敬称略)

区 分 (上越市総合計画審議会条例第3 条第2項各号)	氏 名	所属機関・団体等
第1号 上越市教育委員会の委員	濱 祐子	上越市教育委員会 委員
第2号 上越市農業委員会の委員	荒川 俊治	上越市農業委員会 会長
第3号 学識経験を有する者	川崎 直哉	上越教育大学 学長
	小泉美佐子	新潟県立看護大学 学長
	平澤 則子	新潟県立看護大学 教授
	松田 曜子	長岡技術科学大学 准教授
	山縣耕太郎	上越教育大学 教授
第4号 関係行政機関の職員	遠藤 正樹	国土交通省北陸地方整備局 高田河川国道事務所 所長
	大野 昇	新潟県上越地域振興局 局長
	金子 幸二	厚生労働省新潟労働局上越公共職業安定所 所長
第5号 関係諸団体の役員及び職員	岡田 龍一	上越市小中学校PTA連絡協議会 会長
	荻谷 賢一	上越市商工会連絡協議会 会長
	小嶋 宏志	上越青年会議所 理事長
	小林 良一	上越市社会福祉協議会 理事
	白石 雅孝	上越市地域公共交通活性化協議会 委員
	杉本 正彦	上越市町内会長連絡協議会 会長
	高橋 信雄	上越商工会議所 会頭
	竹内 靖彦	NPO法人中郷区まちづくり振興会 理事長
	中條美奈子	NPO法人マミーズ・ネット 理事長
	早川 英雄	連合新潟上越地域協議会 事務局長
	早津 正文	上越医師会 会長
	藤山 作次	えちご上越農業協同組合 代表理事理事長
	松川菜々子	NPO法人かみえちご山里ファン倶楽部 理事
第6号 公募に応じた市民	大堀 みき	市民
	土屋 郁夫	市民
	中村 真二	市民
第7号 その他市長が必要と認める者	倉石 義行	上越市スポーツ推進審議会 副委員長
	齊京 貴子	上越市女性サポートセンター運営委員会 委員長
	武石 雄司	上越観光コンベンション協会 観光振興専門官
	宮下 孝洋	上越市ものづくり振興専門員

合計 30人

平成30年 市民の声アンケート報告書（概要）

1 調査の概要

■目的

市民生活の実態や実感、市の各政策分野の取組に対する満足度・重要度を定量的に把握するとともに、平成22年及び26年に実施した市民の声アンケートの調査結果との比較・分析などを行い、第6次総合計画の後期基本計画の策定及び各施策・事業の推進につなげるもの

■調査方法等

	今回調査	前回調査
調査地域	上越市全域	
調査対象	満18歳以上の市民5,000人	
調査方法	郵送による配布・回収	
調査期間	平成30年1月20日～31日	平成26年1月10日～20日
回収数	2,168	2,336
有効回答率	43.36%	46.72%

2 調査結果

■生活実態・実感

現在の生活実態や生活実感について伺いました。実感の高い項目（全27項目中）と、前回調査から実感の高まった項目のそれぞれ上位は次のとおりです。

実感の高い項目

順位	項目	実感している人の割合
1	自然が豊かである	90.4%
2	治安がよい	88.6%
3	海や山の幸に恵まれ、食や特産物が豊富である	84.8%

前回調査との比較

順位	項目	実感の変化
1	現在住んでいる住宅の広さや機能に満足している	+5.4
2	自然が豊かである	+4.3
3	学校や図書館などの教育施設が整っている	+4.2

■市の取組に対する満足度と重要度

市が行っている主な取組（全61項目）について、現在どれくらい満足しているか（満足度）、今後どれくらい重要であるか（重要度）を伺いました。それぞれの回答を点数化し算出した平均スコア（※）と前回調査から変化の大きかった項目の上位・下位3項目は次のとおりです。

満足度上位3・下位3

順位	項目	平均スコア
1	水道水の供給	0.80
2	生活排水の処理対策	0.58
3	ごみ減量とリサイクル	0.44
：		
59	商業の振興	-0.37
60	公共交通の利便性向上	-0.46
61	上越妙高駅の周辺整備	-0.49

前回調査との満足度の比較

順位	項目	平均スコアの増減
1	新産業の創出支援	+0.08
2	再生可能エネルギー	+0.05
3	中小企業支援	+0.05
：		
53	公共交通の利便性向上	-0.11
54	直江津港の利用促進	-0.11
55	上越妙高駅の周辺整備	-0.26

重要度上位3・下位3

順位	項目	平均スコア
1	防災対策	1.45
2	雪対策	1.37
3	医療体制の充実	1.28
：		
59	芸術・文化活動の推進	0.50
60	スポーツ・レクの振興	0.50
61	国際的な文化交流の推進	0.43

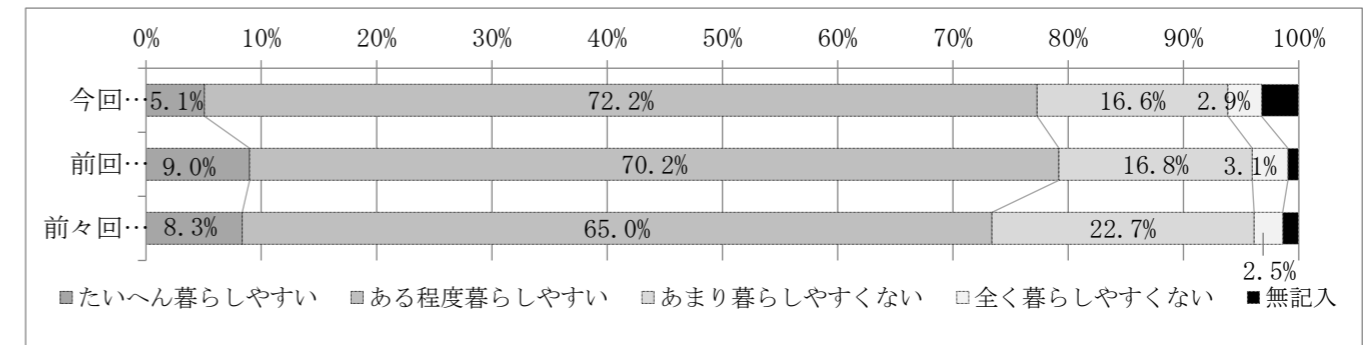
前回調査との重要度の比較

順位	項目	平均スコアの増減
1	上越妙高駅の周辺整備	+0.09
2	公共交通の利便性向上	+0.09
3	生涯学習の推進	+0.09
：		
53	公害対策	-0.10
54	環境啓発活動	-0.12
55	再生可能エネルギー	-0.13

※「平均スコア」の算出方法 … 「満足している」に+2、「やや満足している」に+1、「どちらともいえない」に0、「やや不満である」に-1、「不満である」に-2とし、その平均点について小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位まで表示しています。重要度の平均スコアも同様に算出しています。
なお、今回調査で新設した設問及び内容を一部変更した設問は比較から除いています。

■暮らしやすさ

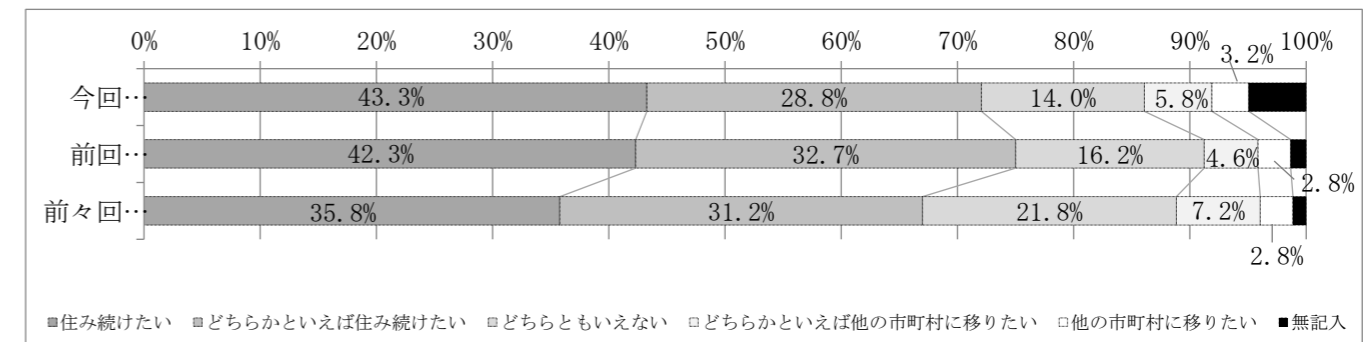
現在の生活を暮らしやすいと感じている市民は約8割（77.3%）



「たいへん暮らしやすい」「ある程度暮らしやすい」を合わせて約8割（77.3%）の市民が暮らしやすいと思っています。前回調査から「たいへん暮らしやすい」が減少し、「ある程度暮らしやすい」が増加しました。

■上越市に住み続ける意向

上越市に住み続けたいと思っている市民の割合は7割以上（72.1%）



「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」を合わせて7割以上（72.1%）の市民が住み続けたいと思っています。前回調査（75.0%）と比べ、減少したものの、「住み続けたい」と思っている市民は調査ごとに増加しています。